

中国語発音12講

野間 晃

本稿は、基礎中国語の習得そのものとも言える発音の習得を、最小限の時間によって効率的に行うことを目的として編まれるテキストの原案である。

中国語入門教科書において、発音に関する記述の占める割合はそう多くはない。発音の基礎を完全に固めてから進むのではなく、文法や語彙を学びながら発音を習得してゆくという方式をとっているように見える。

しかし、文章を目で読む際、特に文学作品は必ず心の中で音読をしているのではなかろうか。筆者は、いかなる時代の中国語であれ、内容のいかんを問わず、まずは音読をするという教育を受けて来た。また、入門の時期にあたって正しい発音を習得させることに失敗すると、課程が進むに従って矯正することが困難になることを痛感している。

ここでは、他の初級中国語の授業と同時進行させながら、1学期の授業（週1コマ）を全て発音教育にあてることを想定する。なお編集にあたり、本学日本語学科の久野寛之先生から多くのご助言を賜ったことに感謝の意を表しておきたいと思う。

* 授業の形態・想定する学習者：

- ①授業時間は90分、授業回数はオリエンテーションと中間・期末試験を除いた12回、クラスの規模は10～40人程度までの、小規模または中規模クラスとする。
- ②学習者は、授業時間以外の予習・復習などの自主的な学習は行わないものと仮定する。従って、毎回の授業で新しく紹介する内容は、10分間程度の説明に凝縮できるものとし、それを授業中において繰り返し、学習者が授業時間内で消化できるようにする。

* 授業内容の特色：

- ①学生に目（教科書・板書・ビデオ）、耳（聞き取りテスト）、口（口頭練習）、手（書き写し）を頻繁に用いさせ、効率的で飽きの来ない学習を行う。
- ②毎回の授業では学生に指定の内容（1. テキスト及び板書の重要事項、2. 聞き取り小テスト（2回分）の答え、3. ビデオの感想、4. 授業内容に対する質問・意見）をレポート（毎回同じ様式のもを教員が用意）として書かせ、終了後の提出を求める。レポートは授業時間中を通じて書かせるので、遅刻・早退の状況が把握しやすい。教員は内容を添削し学生の学習状況をチェックすると共に、学生の記した感想・質問・意見に答えた上で、次の回に返却し、学生との相互コミュニケーションにつとめる。

* 毎回の授業の流れ

5～10分間（導入）

- ↓ レポートの返却。前回の発音テストにおける弱点、及びビデオ感想の講評、誤字
- ↓ 脱字などの指摘、質問・意見に対する回答。

20～25分間（前半）

- ↓ 前回習得した要点を復習。復習聞き取り小テスト。
- ↓ 今回学習する内容について解説。テキスト及び板書した指定の内容をレポートに
- ↓ 写させると同時に各自口頭練習をさせる。教員は教室を回り各人が正しい発音を
- ↓ しているかを確認、正しいものは誉め、誤りは訂正する。

30分間（中間）

- ↓ 中国語発音を専門に解説したビデオ、または中国の文化・歴史・風俗を紹介した
- ↓ ビデオを20分程度鑑賞し、ビデオに対する感想文（最低字数を規定）及び授業の
- ↓ 内容に対する質問・意見を書かせる。

20分間（後半）

- ↓ 前半の補充、今回新たに学習する内容を再度確認する。聞き取り小テスト。

10分間（まとめ）

今回の要点を暗記させる積もりで一斉に繰り返し練習する。指定の内容を記したレポートの整理、提出。

* 授業の進度

第1回：中国語概説、4つの声調の練習（その1、各声調単独の練習）

第2回：4つの声調の練習（その2、各声調の組合せ練習）、第3声の変調、軽声（1）

第3回：日本語にない母音（er・e・ü）の練習、書き換え規則

第4回：他の母音、母音だけで発音される語彙の発音練習

第5回：日本語にない子音（その1、有気音と無気音）の練習

第6回：日本語にない子音（その2、そり舌音）の練習

第7回：他の子音の練習、軽声（2）、声調記号の位置

第8回：音節表一覧（その1、書き換え規則、“ü”の“…”の省略、“-n”と“-ng”）

第9回：音節表一覧（その2、“i”と“e”の発音）

第10回：音節表一覧（その3、隠れる母音、ピンインの問題点）

第11回：“不”・“一”の声調、儿化

第12回：いろいろな音節と声調の組合せ練習

【第1回】普通話、ピンイン（拼音）、簡体字、声調

（以下各回とも、注記のあるものを除き、新しく学習する内容のみを記載する）

I. 中国語概説

まず、中国語学習にあたって最低限知っておくべき基礎的知識を紹介する。

- ①中国語には色々な方言があり、主要な方言の間（例えば北京語と広東語、上海語と福建語）はお互いに全く通じない。標準語は北京の方言に近く、“普通話”と呼ばれる。
- ②中国語の発音は“ピンイン（拼音）”と呼ばれるローマ字で表記する。一般に使われるローマ字の音とは違うところもあり、要注意。vは用いないが、別に“ü”を用いる。
- ③中国語で用いる文字は漢字のみ。漢字は旧字体の“繁体字”に対し、“簡体字”と呼ばれる略字を用いる。日本語の略字とは同じものも、違うものもある（実例をあげる）。
- ④中国語学習で一番難しいのは発音。発音ができるようになれば、基礎中国語の学習は終わったと言える。文法は簡単。活用などの語形変化は一切ない。要は漢字の並べ方。中国語の語順は漢字語として日本人には基礎知識がある。原則は“「を」「に」と会ったら返れ”（実例をあげる）。
- ⑤中国語と日本語の漢字語には共通のものも多いが、違う字を使うもの、同じ漢字語でも日本語と中国語で意味が違うものも多い（実例をあげる）。

II. 4つの声調の練習（その1、カッコ内は声調記号）

- ・第1声（ $\bar{\quad}$ ）：高く平らを保つ（高さ＝第2声の終わり、第4声の始まり）
- ・第2声（ $\check{\quad}$ ）：上昇（始まりの高さ＝第3声、終わりの高さ＝第1声）
- ・第3声（ \vee ）：（1）ポーズの前（または独立して）→低く始まり尻上がり
（2）その他→低く（高さ＝第2声の始まり）

〔解説〕第3声の弁別の特徴は“低い”ことであり、最初の下降は助走、最後の上昇は緊張の解除による付随的に生じ、“低い”声を出すことに注意すべきものであると説明する。地を這う様な、潜水する様な感じで発音することを強調する。これに対し、第2声の弁別の特徴は“上昇”であり、一気に空に昇る様な感じで発音することを強調する。第2声の上昇と、第3声の付随的な上昇の違いに注意させなければならない。

- ・第4声（ \backslash ）：下降（始まりの高さ＝第1声の高さ、終わりの高さ＝第3声）
（この他に、“軽声”（同じ音節の重複2回目、接尾辞などに現れる）がある→第2回）

〔練習〕まず a・i (yi) ・u (wu)（この時点では書き換え規則にも簡単に触れる）をそれぞれ四声の順に、ゆっくりとポーズを置きながら、次に普通の速さで続けて練習する。

【第2回】声調の高さの相関関係・第3声の変調・軽声

I. 4つの声調の練習（その2、声調間の高さの相関関係について）

①第1声と第4声：— \ — \ — \ — \ — \ — \ — \ — \

②第2声と第1声：/ — / — / — / — / — / — / — / —

【解説】第1声の始まりを第2声の終わりと同じ高さにするよう注意する。第1声の高さが低くなると、後ろの第1声が第3声の様に聞こえ、第1声の高さが高くなると、前の第2声が第3声の様に聞こえる恐れがあるためである。

③第3声と第2声：∨ / ∨ / ∨ / ∨ / ∨ / ∨ / ∨ / ∨ /

【解説】第3声は低くすることだけを考えればよい、後ろの第2声は、第3声を低く押さえた反動で高く平らな第1声になりがちなので、“上昇”させることに注意を払わせる。

④第4声と第3声：\ ∨ \ ∨ \ ∨ \ ∨ \ ∨ \ ∨ \ ∨ \

【練習】4つの声調を、順不同でまずゆっくりとポーズを置きながら一つ一つ、次に普通の速さで続けて発音する。∨の第3声は、“低い”だけの声調で発音することに注意する。

①（各2回）— — \ \ / / ∨ ∨ \ \ — — ∨ ∨ / / \ \ ∨ ∨ — — / / — —

②（各1回）— \ / ∨ \ — ∨ / \ ∨ — / —

II. 第3声の連続

第3声の連続は（読みにくいので）、第2声+第3声が変わる。

∨ ∨ → / ∨（例：你好 nǐ hǎo、友好 yǒu hǎo、你早 nǐ zǎo）

第3声が3回以上連続する場合は、意味・速度によって適当にポーズを置く。

∨ ∨ ∨ → ∨ / ∨ または / / ∨

（例：我也有 wǒ yě yǒu、我买米 wǒ mǎi mǐ）

（以上のような常用例を数回復習し、定着をはかる）

III. 軽声

特定の高さを持たず、軽く発音される。高さは、前の音節の声調によって決まる（ここでは高さを一通り説明し、第7回で更に多くの例についてふれる）。

①第1声・第2声の後ろ→中間の高さ（例：妈妈（お母さん）māma、爷爷（おじいさん）yéye）

②第3声の後ろ→低く押さえた反動で高くなる。（例：奶奶（おばあさん）nǎinai）

③第4声の後ろ→低い。（例：妹妹（妹）mèimei）

【第3回】日本語にない母音、そり舌音、書き換え規則

I. 日本語にない母音

- ① e (単独) : まず唇を左右へ平らに開き、「ウ」を発音する (zi・ci・siの“i”)、そこから模範的な発音を聞かせながら、「オ」に近い音へ移行させる。なお、②のerを練習した後は、舌を巻きがちになるので注意する。なお2重母音 (“ie” など) では「エ」、(u) enでは曖昧母音になる (詳細は第9回で説明する)。

〔解説〕 この母音は、ふつう“「エ」の口で (のどの奥から) 「オ」を発音する”などと説明されているが、あまりよい効果は得られない様である。“小指のさきを歯でかんだ時の口の形をしたままで、舌の奥のほうに力を入れて声を出す” (長谷川寛『わかる中国語』〈基礎編〉昭和41年三省堂刊) という説明方法もある。

- ② er : 上の“e”から舌を巻いていく (そり舌音)。

- ③ ü (yu) : 唇に力を入れてすぼめ、“イ”と言う。口の形がくずれない様、十分注意させること。最初の内は手で口の開きを押さえてもよい。

〔解説〕 この母音は、“「ユ」を言うときの口の形をして「イ」と発音する”などと説明されるが、日本語の「ユ」では円唇度が低いため、思い通りの音が得られない事が多い。

II. 書き換え規則

ピンインは一単語を分かち書きせず続けて書くため、音節の分かれ目がハッキリする様に、母音で始まる音節ではi→yi、u→wu、ü→yuの様に書き換える。但しその音節に他の母音がある場合はi→y (yang)、u→w (wai) とする。ü→yuの書き換えは常に行う (üan→yuan) (声調記号を打つ位置については、第10回で再度説明する)。iに声調記号を打つ時は、・を取る (yī) (第1回ですでに説明)。i・u・yu以外の母音で始まる音節を続けて書くときには、“隔音記号 (’)”を用いる (→ [練習] の“魚餌 yú’ěr”)。

〔練習〕 e・er・yuだけで発音される語彙 (手写させ、書き換え規則の定着をはかる)

(繁体字)	俄語	惡語	鰐魚	耳語	魚餌
(簡体字)	俄语	恶语	鳄鱼	耳语	鱼饵
(ピンイン)	éyǔ	èyǔ	èyú	ěryǔ	yú’ěr
(本来の発音)	é ŭ	è ŭ	è ú	ěr ŭ	ú’ěr
(日本語の意味)	ロシア語	悪口	ワニ	耳打ち	魚の餌

【第4回】他の母音、書き換え規則

日本語にもある母音

① a : 日本語の「ア」よりも口を広く開けて発音する。

② i (yi) : 日本語の「イ」よりも唇をもっと左右に引いて発音する。

{解説} z・c・sの後ろのiについては、次回でふれる。

③ u (wu) : 日本語の「ウ」よりも唇をもっと突き出して発音する。

{解説} “u” は唇をはっきりと突き出さないと、中国語では別の母音に聞こえるということから、sū (苏) : sī (思・司) 、sù (宿・素) : sì (寺・四) などの対立について前もって紹介してもよい。

[練習] 母音だけで発音される語彙 (手写させ、書き換えの規則の定着をはかる)

(繁体字)	無益	無疑	五一	武藝	巫醫	阿姨
(簡体字)	无益	无疑	五一	武艺	巫医	阿姨
(ピンイン)	wúyì	wúyí	wǔyī	wǔyì	wūyī	āyí
(本来の発音)	úì	úí	ǔī	ǔì	ūī	í
(日本語の意味)	無益	疑いなし	メーデー	武芸	巫術の医者	～おばさん

(繁体字)	義務	醫務	遺物	一無	意義	一億	語義	寓意	雨衣
(簡体字)	义务	医务	遗物	一无	意义	一亿	语义	寓意	雨衣
(ピンイン)	yìwù	yīwù	yíwù	yìwú	yìyì	yíyì	yǔyì	yùyì	yǔyī
(本来の発音)	ìù	īù	íù	ìú	ìì	íì	ǔì	ùì	ǔī
(日本語の意味)	義務	医務	遺物	全然ない	意義	一億	語義	寓意	レインコート

(繁体字)	而已	吳語	物慾	惡意	一二	二一	一五	五二	二五
(簡体字)	而已	吴语	物欲	恶意	一二	二一	一五	五二	二五
(ピンイン)	éryǐ	wúyǔ	wùyù	èyì	yī'èr	èryī	yīwǔ	wǔ'èr	èrwǔ
(本来の発音)	ǐ	úǔ	ùù	èì	ī	ī	īǔ	ǔ	ǔ
(日本語の意味)	～のみ	呉語	物欲	悪意	(～数字の羅列～)				

【第5回】有気音、無気音、そり舌音

日本語にない子音の練習（その1、有気音と無気音）

本来濁音を表すローマ字で無気音を、清音を表すローマ字で有気音を表す。清音と濁音はそり舌音（次回紹介）を除いて区別しない。

〔解説〕有気音の方が発音しやすい。無気音は発音しにくく、つられて母音が変質しない様に注意する。無気音は清音でも濁音でもよい（そり舌音を除く）と説明される事が多いが、日本語の語頭の濁音は気流を伴う事もあるので注意が必要である。

〔練習〕無気音と有気音が混在している語彙・語句

b : p	瀑布（滝）	怕爸爸（父親を恐れる）	怕婆婆（姑を恐れる）
	pùbù	pà bàba	pà pópo
d : t	打他（彼をたたく）	她打（彼女がたたく）	独特（独特）
	dǎtā	tāđǎ	dútè
g : q	改革	顾客（顧客）	刻骨（骨身にしみる）
	gǎigé	gùkè	kègǔ

“j : q”は日本語の“ヂ／チ”である。無気音はほぼ濁音に発音される。

j : q	积极（積極的）	七七	机器（器械）	奇迹（奇跡）
	jījī	qīqī	jīqī	qíjī

“z : c”は日本語の“ヅ／ツ”である。無気音はほぼ濁音に発音される。“z・c・s”の後ろの“i”は「イ」ではなく、唇を左右に引いて「ウ」と言う（→第8回で詳説）。

英語からの連想で、“c”を「カ」行の音で読まない様、注意を喚起する。

z : c	曹操	早操（朝の体操）	做错（し間違える）
	Cáo cāo	zǎo cāo	zuò cuò

〔練習〕無気音と有気音が入り交じった句

他 怕 他 爸爸（她 婆婆）	打 他	怕 曹操	做错	早操
tā pà tā bàba (tā pópo)	dǎ tā	pà Cáo cāo	zuò cuò	zǎo cāo
兔子 跑 了	肚子 饱 了			
tùzi pǎo le	dùzi bǎo le			
兔 逃げる（完了）	お腹 一杯になる（完了）			

【第6回】そり舌音

日本語にない子音の練習（その2、そり舌音）

第3回ですでに習得したそり舌音“er”から、摩擦音“shi”を導入する。そり舌音の後ろの“i”は「イ」ではなく、そり舌音と一体となって発音されるものであることを説明する。

èr (二) → èrshí (二十) → shí'èr (十二) (何度か練習する)

更に次の順序でそり舌音をすべて導入する。

er → shi (シ) → zhi (チ、無気無声音) → chi (チ、有気音) → ri (リ又はジ)

[練習1] そり舌音だけで読まれる語彙・語句

zhi : chi	制止	吃吃 (食べてみる)	迟迟 (遅)	支持			
	zhìzhǐ	chīchī	chíchí	zhīchí			
shi : ri	实 (実)	施	时时 (いつも)	事实	日日	十日	日食
	shí	shī	shíshí	shíshí	rìrì	shíri	rìshí

[練習2] そり舌音と、非そり舌音の混在する例句 (がそり舌音)

二十	二十只 (匹)	十二	十二只	吃 (食べる)	二十只
<u>èrshí</u>	<u>èrshízhī</u>	<u>shí'èr</u>	<u>shí'èrzhī</u>	<u>chī</u>	<u>èrshízhī</u>
吃	十二只	吃二十七只	吃七十二只鸡 (鶏)		
<u>chī</u>	<u>shí'èrzhī</u>	<u>chī èrshíqīzhī</u>	<u>chī qīshí'èrzhī jī</u>		

[練習3] 全て“shi”で発音される例文 (繁体字)

石室詩人施氏，嗜獅，誓食十獅。氏時時適市視獅。十時，適十獅適市。是時，適施氏適市。氏視是十獅，恃矢勢，使是十獅逝世。氏拾是十獅屍，適石室。石室濕，氏使侍拭石室。石室拭，氏始試食是十獅屍。食時，始識是十獅屍，實十石獅屍。試釋是事。

「“施氏食獅史”的故事」 趙元任『言語問題』(第2版、台湾商務印書館) p.130 1968

【解説】 この例文は、まず声調の聞き取りをさせ答え合わせをした後で、意味を説明する。日本語の語順と中国語の語順の違い (“を” “に” と会ったら返れ”、一部は「が」も返る) を紹介することもできる。語彙は、文語なので日本語と共通のものが多いが、現代語ではその多くが異なっていることを説明してもよい。

【第7回】他の子音、軽声、声調記号の位置

I. 日本語（または英語）にもある子音

m、f、n、l、h、x（日本語の“シ”）、sは、英語または日本語のローマ字表記でも使用される読み方とほぼ同じである。但し、hは舌根摩擦音であるので、日本語の「ハ」行の音とは異なり強い摩擦音が聞こえることに注意する。

〔練習〕 m、f、n、l、h、x、sを含む語彙

马马虎虎（いい加減）	恢复（恢復）	附和 / 负荷 / 复合（複合）
mǎmǎhūhū	huīfù	fùhé

西施	西式	喜事	实习（実習）	奴隶（奴隸）	努力	夫人	妇人（婦人）
Xīshī	xīshì	xǐshì	shíxí	núli	nǔli	fūrén	fūrén

素食（精進料理）	／速食（ファーストフード）	女人	暴虐	旅客	略语（略語）
sùshí	sùshí	nǚrén	bàonüè	lǚkè	lüèyǔ

II. 軽声（第2回ですでに導入済）

〔練習〕 ① 1声＋軽声

妈妈（お母さん）	哥哥（お兄さん）	桌子	妻子
māmā	gēge	zhuōzi	qīzi（妻） / qīzi（妻と子）

② 2声＋軽声

爷爷（おじいさん）	伯伯（おじさん）
yéye	bóbo

③ 3声＋軽声

奶奶（おばあさん）	姐姐（お姉さん）	椅子
nǎinai	jiějie	yǐzi

④ 4声＋軽声

爸爸（お父さん）	弟弟	妹妹	筷子（箸）
bàba	didi	mèimei	kuàizi

III. 声調記号の位置

母音が一つの場合はそこに（“i”の・は取る）、複母音の場合は主要母音（口が一番広がる母音、すなわちa>o・e（同時に現れない）>u・i（同時に現れた場合は後ろ→第10回）に打つ、軽声には“。”を用いることもあるが、ふつうは用いない。

【第8回】音節表一覧（その1）書き換え規則、“…”の省略、-nと-ng

〔解説〕ふつう、中国語の初級教科書には音節表がつけられているが、発音上の注意、ピンイン表記上の注意などを詳細に記しているものもあれば、表を掲載しているだけで、何の意図があるのか分からないものもある。ここでは、発音学習を仕上げるにあたり、音節表上（本編では紙上の都合により省略する）を提示しながら注意点を説明する。

I. 書き換え規則（第3回で習得済みであるが、音節表により復習する）

II. üの“…”の省略について

前に子音がある場合は一律ü→yuと書き換える（第3回で習得済み）。üと結びつく子音はj・q・x、n・lのみであるが、j・q・xはuと結びつかないので、üの“…”は省略される。n・lのみuともüとも結びつくので“…”は省略できない。

〔練習〕üの“…”の省略のある語彙

解決 jiějué 居住 jūzhù 区别 qūbié 需要（必要）xūyào 学术（学術）xuésù

III. -nと-ngの対立

〔解説〕日本語においても、/N/の条件異音として-nと-ngは現れるので、この点を指摘して学習者の興味を引かせる。例えば同じ“あん”でも、な行など舌尖音の前では“案内”の様に [n]、が行などの舌根音の前では“案内”の様に [ŋ]、ま行の前では“あんまり”の様に [m]（この点は“什么shénme”の様に中国語も同じ）、母音で始まる音節の前では“安易”[āi]の様に前の母音を鼻音化することを指摘する（中国語は[ʔ]が入るのでこの現象は起きない、例えば“参与（さんよ）”と“参与（cānyù）”）。

〔練習1〕-nと-ngが現れる語彙

①母音の音色がかなり異なるもの（“ian”の“a”は“i”と“n”にはさまれて「エ」となる、第11回“儿化”参照）

(u) an : (u) ang（前より：奥より） → 肝脏（肝臟）gānzàng

ian : iang（「イエン」：「イアン」） → 坚强（堅固）jiānqiáng

en : eng（曖昧母音：単独の「e」） → 登门（人の家を訪問する）dēngmén

②余り異なるもの in : ing → 进行（進行）jìnxíng

〔練習2〕上記①②が入り交じって現れる語彙

前程（前途）qiánchéng 身边（身辺）shēnbiān 长城（万里の長城）chángchéng

案件 ànjàn 方言 fāngyán

【第9回】音節表一覧（その2）“i”と“e”の発音

I. 3種類の“i”

- ①そり舌音の後ろ→そり舌音と一体になって発音される（第6回で習得済み）。
- ②z・c・sの後ろ→唇を左右に引いて無理矢理「ウ」と言う（第5回で導入済み）。
- ③その他→日本語の「イ」よりも唇をもっと左右に引いて発音する（第4回で習得済み）。

[練習] 上記①②③の“i”を含む語彙（――が②の“i”）。“不是”の例で、“不 bù”が第4声の前では第2声に変調することを紹介しておく（第11回で説明する）。

自私（利己的）	司机（運転手）	四季	自己	刺激	瓷器
<u>zìsī</u>	<u>sījī</u>	<u>sìjì</u>	<u>zìjǐ</u>	<u>cìjī</u>	<u>cíqì</u>
自治	辞职（職）	七十四	四十七	十四	四十
<u>zìzhì</u>	<u>cízhi</u>	<u>qīshísi</u>	<u>sìshíqī</u>	<u>shísi</u>	<u>sìshí</u>
十四 是 十四。	四十 是 四十。	十四 不是 四十。	四十 不是 十四。		
<u>shísi</u>	<u>shì shísi</u>	<u>sìshí shì sìshí</u>	<u>shísi búshì sìshí</u>	<u>sìshí búshì shísi</u>	
西施 死时 四十四。					
<u>xīshī</u>	<u>sǐshí</u>	<u>sìshísi</u>			

II. 3種類の“e”（第3回で紹介済み）

- ①単独・eng・ueng：（→第3回で詳説した発音）
 - ②en：曖昧な「エ」（英語話者には“it”の[i]に聞こえる）
 - ③その他（ei・ie（ye）・uei（wei）・üe（yue））：「エ」でよい。
- * 「エ」の音は、単独では間投詞として現れる。その際はピンインで“è”と表記する。

[練習] 上記①②③の“e”を含む語彙

省略	威风（威風）	文学	渔翁（魚釣りの老人）	恩人
<u>shěnglüè</u>	<u>wēifēng</u>	<u>wénxué</u>	<u>yúwēng</u>	<u>ēnrén</u>
节约（節約）	节省（節約）	学生	升格	人类
<u>jiéyuē</u>	<u>jiéshěng</u>	<u>xuésheng</u>	<u>shēnggé</u>	<u>rénlèi</u>

【第10回】音節表一覧（その3）隠れる母音、ピンインの問題点

【解説】ピンインでは、子音と結びついた際に聞こえが悪くなり、表記が省略される母音がある。表記は省略されるが、完全に消えた訳ではなく、速度や声調によって聞こえの度合いが異なるので、注意しなければならない。

I. 隠れる母音（声調による母音の聞こえの違い、声調記号を打つ位置に注意）

① iou (you) : 前に子音が来ると、“liu”の様に表記される。

优(優)	丢	秋	休	油	牛	留	求
yōu	diū	qiū	xiū	yóu	niú	liú	qiú
有	九	又	谬	六	旧	秀	
yǒu	jiǔ	yòu	miù	liù	jiù	xiù	

② uei (wei) : 前に子音が来ると、“sui”の様に表記される。

危	堆	推	归	灰	追	吹	催	虽
wēi	duī	tuī	guī	huī	zhuī	chuī	cuī	suī
唯	谁	随	尾	腿	鬼	嘴		
wéi	shuí	suí	wěi	tuǐ	guǐ	zuǐ		
味	对	退	贵	睡	锐	最	脆	岁
wèi	duì	tuì	guì	shuì	ruì	zuì	cùi	sui

③ uen (wen) : 前に子音が来ると、“sun”の様に表記される。

温	敦	吞	尊	村	孙	文	魂	纯	存
wēn	dūn	tūn	zūn	cūn	sūn	wén	hún	chún	cún
稳	准	损	问	盾	论	顺	闰		
wěn	zhǔn	sǔn	wèn	dùn	lùn	shùn	rùn		

II. ピンインでは完全に表記されない母音（①②はenと、③はengと韻を踏む）

① in→i+en (⇔ I. の③) ② yun→ü+en ③ ing→i+eng

III. ピンインの問題点（①②とも、enと韻を踏む）

① iong→ü+eng（決して「イオン」ではない）

② ong→u+eng=weng（oは「オ」より（口を尖らせた）「ウ」に近い）

【第11回】不・一の変調、儿化

I. “不”の変調について

本来は“bù”と第4声であるが、第4声の前では第2声“bú”に変わる。

〔解説〕日本で発行されたほとんど全ての教材では、以下のⅡ. “一”の変調ともども、実際に読まれる通り表記されているが、“汉语拼音正词法基本规则”（1988年7月、国家教育委员会・国家语言文字工作委员会联合施行）によると、“声调一律标原调，不标变调”、“但是在语音教学时可以根据需要按变调标写”とあり、注意が必要である。

〔練習〕 “不” + 各声調

- ① + 第1声 不吃 bùchī ② + 第2声 不来 bú lái ③ + 第3声 不好 bùhǎo
④ + 第4声 不是 búshì 不对 búduì 不去 búqù 不看 búkàn

Ⅱ. “一”の変調について

一、二、三…と序列を表す場合は常に第1声で読まれるが、その他の場合は“不”の変調と同じく第4声の前で第2声“yí”に変わるのを除き、第4声“yì”で読まれる。なお量詞“个（個）ge”の前では、轻声でも本来の声調“个（個）gè”によって変調する。

〔練習〕 “一” + 各声調

- ① 序列を表す場合：第1声→第一个 dìyíge 十一点（十一時）shíyīdiǎn
② 第1～3声の前：第4声→一天（一日）yītiān 一些（少し）yìxiē 一点（少し）yīdiǎn
③ 第4声の前：第2声→一个（一つ）yíge 一块（一元、一塊り）yīkuài

Ⅲ. 儿化について

以下の場合、儿化すると前の音節が変化する。但し表記は元のままで“r”をつける。
① -i、-nは脱落する（“ian”の“a”は“i”と“n”にはさまれて「エ」となるが、“ianr”の“a”は「ア」にもどる）、②隠されていた母音が復活する（→第10回）、③ -ngは脱落するが、前の母音が鼻音化される、④ enの曖昧な「エ」、及び「エ」と読む“e”も、rがつくと単独の場合の音に読む。

〔練習〕

- ① -i、-nの脱落→一块儿（一緒に）yīkuàir 一点儿（少し）yīdiǎnr
② 隠れていた母音の復活→一会儿（少しの間）yíhuìr/yíhuǐr（huǐrの様によむ）
③ -ngの脱落する、前の母音の鼻音化→灯儿 dēngr 杏儿 xìngr
④ 曖昧な「エ」、「エ」と読む“e”→人儿（人形）rénr 锅贴儿（餃子）guōtiēr

【第12回】色々な音節と、声調の組合せ練習

〔解説〕 第1回～第11回に出た2音節の語彙から一部を選び、以下の表にまとめた。○は回数を表す。声調・声母・韻母のそれぞれは正確に発音できるようになっても、組み合わせると容易に間違えてしまうので、以下の様な組合せ練習を繰り返す必要がある。

前／後	第1声	第2声	第3声	第4声	轻声
第1声	西施 Xīshī ⑦ 身边 shēnbiān ⑧ 司机 sījī ⑨ 威风 wēifēng ⑨	支持 zhīchí ⑥ 区别 qūbié ⑧ 坚强 jiānqiáng ⑧ 登门 dēngmén ⑧ 方言 fāngyán ⑧	她打 tādǎ ⑤ 妻子 qīzi ⑦	机器 jīqì ⑤ 恢复 huīfù ⑦ 居住 jūzhù ⑧ 需要 xūyào ⑧ 参与 cānyù ⑧ 肝脏 gānzàng ⑧	妈妈 māma ② 哥哥 gēge ⑦ 桌子 zhuōzi ⑦ 妻子 qīzi ⑦
第2声	奇迹 qíjī ⑤ 曹操 Cáocāo ⑤ 渔翁 yúwēng ⑨ 节约 jiéyuē ⑨	实习 shíxí ⑦ 长城 chángchéng ⑧ 辞职 cízhí ⑨ 文学 wénxué ⑨	俄语 éyǔ ③ 而已 éryǐ ④ 吴语 wúyǔ ④ 节省 jiéshěng ⑨	一亿 yíyì ④ 独特 dútè ⑤ 学术 xuéshù ⑦ 瓷器 cíqì ⑨ 人类 rénlèi ⑨ 一块 yíkuài ⑪	爷爷 yéye ② 婆婆 pópo ⑤ 伯伯 bóbo ⑦ 什么 shénme ⑧ 学生 xuésheng ⑨ 一个 yíge ⑪
第3声	五一 wǔyī ④ 雨衣 yǔyī ④ 打他 dǎtā ⑤ 早操 zǎocāo ⑤	改革 gǎigé ⑤ 女人 nǚrén ⑦ 解决 jiějué ⑧	你好 nǐhǎo ② 你早 nǐzǎo ② 友好 yǒuhǎo ② 耳语 ěryǔ ③	语义 yǔyì ④ 旅客 lǚkè ⑦ 喜事 xǐshì ⑦ 省略 shěnglüè ⑨	奶奶 nǎinai ② 姐姐 jiějie ⑦ 椅子 yǐzi ⑦
第4声	自私 zìsī ⑨ 刺激 cìjī ⑨ 一天 yìtiān ⑪ 一些 yìxiē ⑪	鳄鱼 èyú ③ 事实 shìshí ⑥ 素食 / 速食 sùshí ⑦ 妇人 fūrén ⑦ 进行 jìnxíng ⑧	恶语 èyǔ ③ 刻骨 kègǔ ⑤ 制止 zhìzhǐ ⑥ 略语 lüèyǔ ⑦ 自己 zìjǐ ⑨ 一点 yídiǎn ⑪	瀑布 pùbù ⑤ 顾客 gùkè ⑤ 做错 zuòcuò ⑤ 案件 ànjàn ⑧ 四季 sìjì ⑨ 自治 zìzhì ⑨	妹妹 mèimei ② 爸爸 bàba ⑤ 兔子 tùzi ⑤ 肚子 dùzi ⑤ 弟弟 dìdi ⑦ 筷子 kuàizi ⑦